

南米再生可能エネルギーの水素利用調査報告

目的

再生可能エネルギーから水素のポテンシャル調査

アルゼンチン: 風力エネルギー → 水素

ブラジル: バイオマス → 水素

水素エネルギー協会

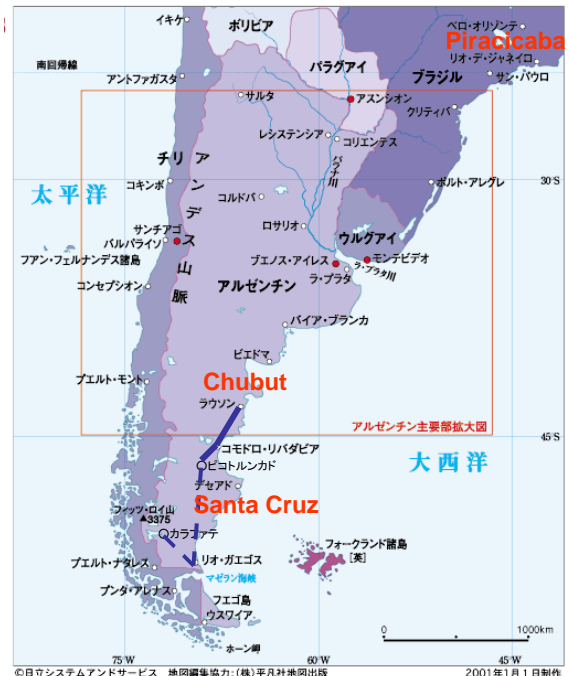
新エネルギー・産業技術開発機構(NEDO)

調査団

太田 健一郎 (横浜国立大学)
 谷生 重晴 (横浜国立大学)
 神谷 祥二 (川崎重工業)
 勝呂 幸男 (三菱重工業、風力エネルギー協会)
 村田 謙二 (エネルギー総合工学研究所)
 横山 稔 (グレートスピリッツ)

日程

1月3日 成田発
 4日 ブエノスアイレスでCAPSAと会談後、トレリウー着
 5日 ローソンでチュブット州知事らと会談
 6日 コモドロリバダビアでSCPL役員と会談、風車見学
 7日 ビコトルンカドの水素研究所見学、
 サンタクルス州関係者と会談: 水素協会長、市長、村長とともに
 ホルエルカイケ村(水素村予定地)見学
 港湾施設見学
 8日 ブエノスアイレスからブラジルサンパウロへ
 9日 サンパウロでUNICA、ピランカバでDEDINI社訪問
 10日 ピランカバ近郊でサトウキビ研究所、COSAN社訪問
 夜 サンパウロ発
 12日 成田着

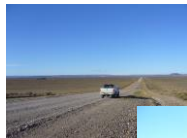




チュベット州知事宅で



Punta Tonbo



コルエルカイケ村



水素研究所(ピコトルカド)



新聞報道等

- 1月5日
 - ・昼のCHB-TVニュースで生中継
- 1月6日
 - ・EL PATAGONICO 「チュブット州知事は日本の企業家とコンサルタントの訪問を受けた」
 - ・CRONICA 「日本調査団はチュブット州の風力エネルギーに興味を示した」
 - ・EL CHUBUT 「日本から風力から水素への調査団来訪」
 - ・LA PRENSA(全国紙)「日本が風力エネルギーに興味を示した」
- 1月7日
 - ・EL PATAGONICO「日本人はこの地域の有利性を評価した」
 - ・CRONICA 「日本は2100年に100%水素エネルギー達成予定」
- 1月9日
 - ・LA NACION(全国紙)「日本が南部に興味を表明した」

まとめ

- ・アルゼンチン パタゴニア地方の風力エネルギーは膨大である。
 - パタゴニア向けの風車設計のための風況調査が必要
 - サンタクルス州で1箇所(ホルエルカイケ村近郊)
 - チュブット州で1箇所(コモドロリバダビア近郊)
 - ・ブラジル サンパウロ州のバイオエタノール生産は伸びている。
 - 水素エネルギーに向けての計画は今のところ無い。
 - 廃棄物を利用した水素生産の可能性の詳細調査が必要
- 「パタゴニアの風を日本に持ってこよう」プロジェクトの提案
再生可能エネルギーを利用した
水素エネルギーシステムの構築へ